

第15期

運用報告書(全体版)

ワールド・ソブリンインカム (1年決算型) (愛称 十二単衣(1年決算型))

【2023年9月25日決算】

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
皆様の「ワールド・ソブリンインカム(1年決算型)
(愛称 十二単衣(1年決算型))」は、2023年9月25
日に第15期決算を迎えましたので、期中の運用状況な
らびに決算のご報告を申し上げます。

今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し
上げます。

SBI 岡三アセットマネジメント

〒104-0031 東京都中央区京橋2-2-1

お問い合わせは弊社投信営業部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214 (営業日の9:00~17:00)

お取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

[ホームページ]

<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。

※岡三アセットマネジメント株式会社は2023年7月1日をもってSBI
岡三アセットマネジメント株式会社へ商号を変更いたしました。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券	
信託期間	2008年10月15日から、原則として無期限です。	
運用方針	ワールド・ソブリンインカム マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)を通じて、日本を含む主要先進各国のソブリン債(国債および政府保証債等)に投資を行い、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。原則として、外貨建資産の為替ヘッジは行いません。	
主要投資対象	当ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	ワールド・ソブリンインカムマザーファンド	日本を含む主要先進各国のソブリン債(国債および政府保証債等)を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	ワールド・ソブリンインカムマザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎年9月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益分配を行います。分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等の全額とします。繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等には、マザーファンドの利子・配当収入等のうち、投資信託財産に帰属すべき利子・配当収入等を含むものとします。(ファンドの分配対象収益の範囲には、売買益(評価益を含みます。)を含みません。)分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案し、決定します。分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。	

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額	
	(分配落)	税 分 配	み 金	期 騰 落	中 率				(ベンチマーク)
	円	円	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
11期(2019年9月25日)	11,847		100	△0.9	430.03	3.2	94.9	—	202
12期(2020年9月25日)	12,163		100	3.5	446.34	3.8	87.7	—	524
13期(2021年9月27日)	12,234		100	1.4	459.14	2.9	88.0	—	497
14期(2022年9月26日)	11,855		100	△2.3	460.49	0.3	90.5	—	418
15期(2023年9月25日)	12,081		100	2.7	482.68	4.8	91.4	—	410

(注) 基準価額および分配金（税引前）は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金（税引前）込み。

(注) FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率および債券先物比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	騰 落 率	騰 落 率	(ベンチマーク)	騰 落 率		
(期首) 2022年9月26日	円	%	ポイント	%	%	%
	11,855	—	460.49	—	90.5	—
9月末	11,877	0.2	461.25	0.2	85.7	—
10月末	12,106	2.1	472.46	2.6	83.9	—
11月末	11,861	0.1	460.81	0.1	87.3	—
12月末	11,293	△4.7	442.93	△3.8	83.0	—
2023年1月末	11,487	△3.1	445.85	△3.2	88.4	—
2月末	11,546	△2.6	450.32	△2.2	95.5	—
3月末	11,716	△1.2	455.47	△1.1	87.6	—
4月末	11,770	△0.7	459.83	△0.1	85.8	—
5月末	11,986	1.1	471.07	2.3	88.2	—
6月末	12,409	4.7	487.09	5.8	88.8	—
7月末	12,121	2.2	475.81	3.3	86.1	—
8月末	12,359	4.3	486.67	5.7	88.6	—
(期末) 2023年9月25日	12,181	2.7	482.68	4.8	91.4	—

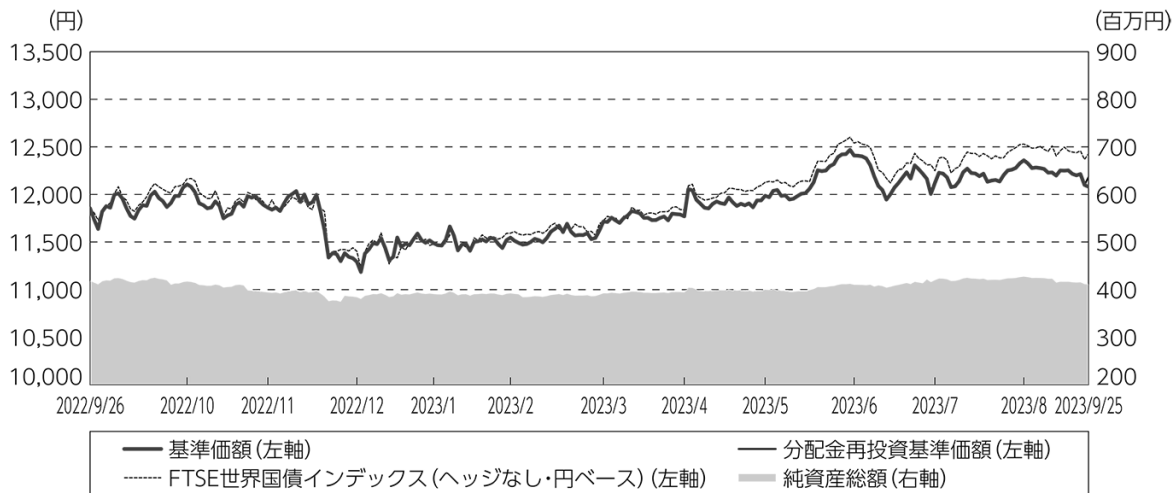
(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金（税引前）込み、騰落率は期首比。

FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

運用経過

期中の基準価額等の推移

（2022年9月27日～2023年9月25日）



期首：11,855円

期末：12,081円（既払分配金（税引前）：100円）

騰落率： 2.7%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首（2022年9月26日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドの主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・投資している全ての外国通貨が対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・全ての投資国において保有債券の利回りが上昇し、価格が下落したこと。

投資環境

（2022年9月27日～2023年9月25日）

<投資国の債券市場>

投資国の債券市場では、主要中央銀行が大幅な利上げを継続する姿勢を示したことを受けて、2022年10月下旬にかけて、利回り上昇（価格は下落）が進行しました。その後、米国のインフレ率のピークアウトに伴う利上げペースの減速や早期利上げ打ち止め観測の台頭、米国の大手地方銀行の破綻を契機とする欧米の金融システムへの懸念等を背景に、利回りが低下（価格は上昇）する場面が見られました。しかし、2023年4月以降は、欧米の金融システムへの懸念が徐々に後退したことや、海外の主要中央銀行が利上げに前向きなタカ派姿勢を鮮明にしたことを受けて、利回りの上昇基調が続きました。特に、期末にかけては、原油価格の上昇に伴うインフレ懸念、主要中央銀行による金融引き締め長期化観測等を背景に、利回り上昇が加速する展開となりました。国内債券市場では、日銀が2022年12月に長短金利操作（YCC、イールドカーブ・コントロール）の修正、2023年7月にYCCの運用柔軟化を決定したことを受けて、長期債の利回りが上昇しました。この結果、当期における投資国の10年国債利回りは、全ての投資国で上昇しました。

<為替市場>

為替市場では、日銀と海外の主要中央銀行との金融政策スタンスの違いが鮮明となる中、米ドルが対円で一時32年ぶりの高値となる152円附近に急伸するなど、2022年10月下旬にかけて急速な円安が進行しました。しかし、政府・日銀が大規模な「円買い・米ドル売り」介入を実施したこと、海外金利が低下に転じたこと、日銀がYCCの修正に踏み切ったことなどを受けて、2023年1月には米ドルが対円で一時127円台に急落するなど、円高圧力が強まる展開となりました。その後は、欧米の金融システムへの懸念が円高要因となる場面も見られましたが、同懸念が徐々に後退したことや、海外金利の上昇に伴い内外金利差が拡大したことを受けて、投資通貨に対し円安基調が鮮明となりました。また、期末にかけては、原油価格の上昇が日本の貿易収支悪化につながるなどの懸念も円売り要因となりました。この結果、当期においては、投資している全ての外国通貨が対円で上昇しました。

当ファンドのポートフォリオ

（2022年9月27日～2023年9月25日）

<ワールド・ソブリンインカム（1年決算型）（愛称 十二単衣（1年決算型））>

「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券を主要投資対象とし、同受益証券の組入比率を概ね99%台と高位で推移させました。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

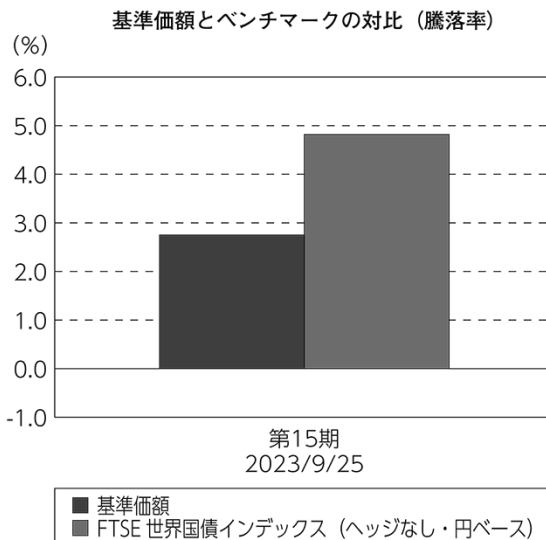
8カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション[※]を変化させました。デュレーションは、6.88年～8.37年の範囲内での推移となり、期末は7.68年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期においては、米ドル中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は80.5%～95.2%の範囲内で推移させました。当期における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比較して、オーストラリアドル、カナダドルが高め、米ドル、ユーロ、イギリスポンドが同程度、円が低めとなりました。一方、中国人民元、メキシコペソなどは、ベンチマークの構成通貨となっていますが、当ファンドでは投資していません。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きいく程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2022年9月27日～2023年9月25日）

分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を2.1%下回りました。債券要因では、投資国の債券利回りの上昇基調が鮮明となる中、ベンチマークと比較しデュレーションを実質的に長めで推移させたことがマイナスとなりました。為替要因では、投資通貨に対し円安が進行する中、ベンチマークと比較し外貨の投資比率を総じて高めに維持したことなどがプラスとなりました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）です。

分配金

（2022年9月27日～2023年9月25日）

分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等の全額としております。
当期間におきましては、期末に1万口当たり100円（税引前）の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった留保益につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

項 目	第15期
	2022年9月27日～ 2023年9月25日
当期分配金	100
（対基準価額比率）	0.821%
当期の収益	100
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,343

（注）対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下四捨で算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

海外の債券市場では、主要中央銀行による金融引き締めが最終局面に入りつつあるものの、米連邦準備制度理事会（FRB）が政策金利を長期間にわたり高めに維持する姿勢を鮮明にしていることから、当面は米国を筆頭に各投資国の債券利回りに上昇圧力が残る展開を想定しています。しかし、中国とユーロ圏の景気減速懸念が強まっていることや、景気が底堅く推移している米国においても、今後はこれまでの急速な金融引き締めが景気と物価の下押し要因として働いてくると見ていることから、徐々に利回り低下が優勢になると判断しています。また、日本では日銀によるマイナス金利解除が視野に入り始めており、長期債利回りが緩やかに上昇する展開を想定しています。

為替市場では、日本と海外の主要先進国との内外金利差が引き続き高水準であることから、相対的に金利の低い円を売り、相対的に金利の高い外国通貨を買うことで金利差の獲得を狙う、いわゆる「円キャリートレード」に支えられ、円安地合いが継続する可能性が高いと見えています。一方、円安トレンドが継続する中、投機的な円売りポジションが増加している可能性があるため、株安などを背景に投資家のリスク回避姿勢が強まる場面では、短期的に円高方向への揺り戻しの動きが強まる展開が想定されます。

（運用方針）

<ワールド・ソブリンインカム（1年決算型）（愛称 十二単衣（1年決算型））>

主要投資対象である「ワールド・ソブリンインカム マザーファンド」の受益証券の組入比率は99%台の高位を維持する方針です。ただし、追加設定・解約の動向等によっては組入比率が高位にならない場合があります。

○ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデデュレーションを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

（2022年9月27日～2023年9月25日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬	137	1.152	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	（ 39 ）	（ 0.329 ）	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	（ 91 ）	（ 0.768 ）	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	（ 7 ）	（ 0.055 ）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.017	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	（ 1 ）	（ 0.011 ）	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の 送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	（ 1 ）	（ 0.005 ）	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	（ 0 ）	（ 0.001 ）	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	139	1.169	
期中の平均基準価額は、11,877円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

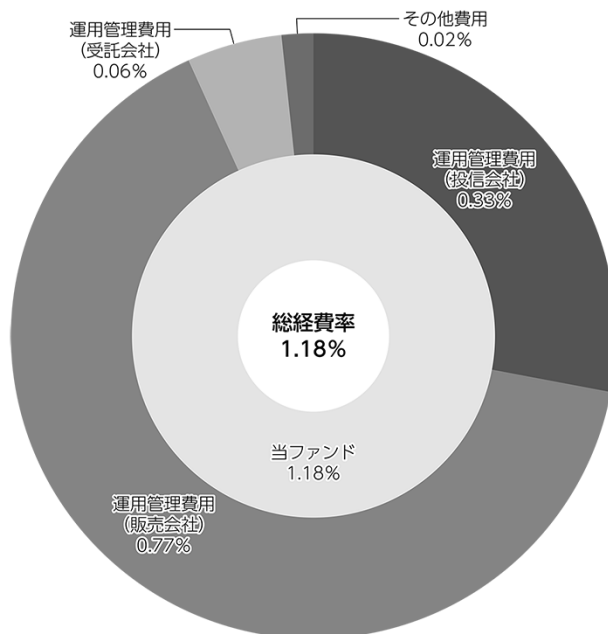
(注) その他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.18%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2022年9月27日～2023年9月25日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	千口 13,345	千円 28,075	千口 24,484	千円 51,502

（注）単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

（2022年9月27日～2023年9月25日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2023年9月25日現在）

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	千口 199,790	千口 188,651	千円 408,731

（注）口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

（2023年9月25日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド	千円 408,731	% 98.1
コール・ローン等、その他	7,786	1.9
投資信託財産総額	416,517	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

（注）ワールド・ソブリンインカム マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（46,500,146千円）の投資信託財産総額（53,879,699千円）に対する比率は86.3%です。

（注）外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝148.50円、1カナダドル＝110.19円、1ユーロ＝158.23円、1イギリスポンド＝181.84円、1オーストラリアドル＝95.62円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2023年9月25日現在）

項目	当期末
	円
(A) 資産	416,517,307
コール・ローン等	7,785,990
ワールド・ソブリンインカム マザーファンド(評価額)	408,731,317
(B) 負債	5,768,301
未払収益分配金	3,399,872
未払解約金	939
未払信託報酬	2,356,325
未払利息	9
その他未払費用	11,156
(C) 純資産総額(A-B)	410,749,006
元本	339,987,242
次期繰越損益金	70,761,764
(D) 受益権総口数	339,987,242口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,081円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、1,2081円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は352,997,636円、期中追加設定元本額は27,869,300円、期中一部解約元本額は40,879,694円です。

○損益の状況（2022年9月27日～2023年9月25日）

項目	当期
	円
(A) 配当等収益	△ 1,086
受取利息	7
支払利息	△ 1,093
(B) 有価証券売買損益	15,576,880
売買益	16,132,011
売買損	△ 555,131
(C) 信託報酬等	△ 4,656,189
(D) 当期損益金(A+B+C)	10,919,605
(E) 前期繰越損益金	△ 6,546,268
(F) 追加信託差損益金	69,788,299
(配当等相当額)	(134,610,122)
(売買損益相当額)	(△ 64,821,823)
(G) 計(D+E+F)	74,161,636
(H) 収益分配金	△ 3,399,872
次期繰越損益金(G+H)	70,761,764
追加信託差損益金	69,788,299
(配当等相当額)	(134,642,807)
(売買損益相当額)	(△ 64,854,508)
分配準備積立金	13,304,209
繰越損益金	△ 12,330,744

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第15期
(a) 配当等収益(費用控除後)	7,108,700円
(b) 収益調整金中のその他収益調整金	134,642,807円
(c) 分配準備積立金中の配当等収益	9,313,237円
分配対象収益(a+b+c)	151,064,744円
分配対象収益(1万口当たり)	4,443円
分配金額	3,399,872円
分配金額(1万口当たり)	100円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未収配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未収利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額(翌期に繰り越す損益金の合計額)です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税引前）	100円
支払開始日	2023年9月29日（金）までの間に支払いを開始します。
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店

<お知らせ>

SBI岡三アセットマネジメント株式会社への商号変更等に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。（実施日：2023年7月1日）

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2023年9月25日現在）

<ワールド・ソブリンインカム マザーファンド>

下記は、ワールド・ソブリンインカム マザーファンド全体(24,339,536千口)の内容です。

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率			
					5年以上	2年以上	2年未満	
	千円	千円	%	%	%	%	%	
国債証券	1,500,000	1,445,955	2.7	—	2.7	—	—	
合 計	1,500,000	1,445,955	2.7	—	2.7	—	—	

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第363回利付国債（10年）	0.1	500,000	482,955	2031/6/20
第364回利付国債（10年）	0.1	1,000,000	963,000	2031/9/20
合 計		1,500,000	1,445,955	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 163,000	千米ドル 150,696	千円 22,378,393	% 42.4	% —	% 28.8	% 11.4	% 2.2
カナダ	千カナダドル 19,000	千カナダドル 15,199	1,674,783	3.2	—	3.2	—	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	32,000	27,031	4,277,229	8.1	—	5.2	2.9	—
イタリア	39,000	37,474	5,929,544	11.2	—	7.7	3.5	—
フランス	45,000	38,428	6,080,608	11.5	—	9.2	1.5	0.9
イギリス	千イギリスポンド 16,000	千イギリスポンド 14,191	2,580,498	4.9	—	4.9	—	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 50,000	千オーストラリアドル 42,694	4,082,450	7.7	—	5.8	—	2.0
合 計	—	—	47,003,507	89.1	—	64.6	19.4	5.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当ファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

ワールド・ソブリンインカム（1年決算型）（愛称 十二単衣（1年決算型））

(B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円	
	国債証券	US TREASURY N/B 2.25	2.25	16,000	11,277	1,674,708	2041/5/15
		US TREASURY N/B 3.375	3.375	24,000	22,016	3,269,413	2033/5/15
		US TREASURY N/B 3.5	3.5	24,000	22,267	3,306,723	2033/2/15
		US TREASURY N/B 3.625	3.625	24,000	23,036	3,420,883	2028/5/31
		US TREASURY N/B 3.625	3.625	21,000	17,892	2,657,059	2053/2/15
		US TREASURY N/B 3.625	3.625	8,000	6,823	1,013,326	2053/5/15
		US TREASURY N/B 4	4.0	18,000	17,548	2,605,966	2028/6/30
		US TREASURY N/B 4.75	4.75	8,000	7,943	1,179,554	2025/7/31
		US TREASURY N/B 6.25	6.25	20,000	21,890	3,250,757	2030/5/15
小	計					22,378,393	
カナダ				千カナダドル	千カナダドル		
	国債証券	CANADA-GOV'T 2	2.0	12,000	10,288	1,133,656	2032/6/1
		CANADA-GOV'T 2	2.0	7,000	4,910	541,126	2051/12/1
小	計					1,674,783	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 0	—	5,000	4,007	634,162	2032/2/15
		DEUTSCHLAND REP 0	—	8,000	3,569	564,767	2052/8/15
		DEUTSCHLAND REP 2.3	2.3	10,000	9,659	1,528,470	2033/2/15
		DEUTSCHLAND REP 4.75	4.75	9,000	9,794	1,549,829	2028/7/4
イタリア	国債証券	BTPS 0.85	0.85	13,000	11,785	1,864,846	2027/1/15
		BTPS 4.4	4.4	24,000	23,848	3,773,481	2033/5/1
		BTPS 4.5	4.5	2,000	1,840	291,215	2053/10/1
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 1.5	1.5	13,000	8,230	1,302,300	2056/5/25
		FRANCE O. A. T. 2	2.0	14,000	12,635	1,999,280	2032/11/25
		FRANCE O. A. T. 2.5	2.5	10,000	9,636	1,524,704	2030/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.75	2.75	5,000	4,927	779,670	2027/10/25
		FRANCE O. A. T. 4.25	4.25	3,000	2,999	474,652	2023/10/25
小	計					16,287,381	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	UK TSY GILT 3.25	3.25	8,000	7,388	1,343,535	2033/1/31
		UK TSY GILT 3.75	3.75	8,000	6,802	1,236,962	2053/10/22
小	計					2,580,498	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 1.75	1.75	31,000	25,022	2,392,688	2032/11/21
		AUSTRALIAN GOVT. 3.25	3.25	11,000	10,854	1,037,893	2025/4/21
		AUSTRALIAN GOVT. 3.25	3.25	8,000	6,817	651,868	2039/6/21
小	計					4,082,450	
合	計					47,003,507	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド
第21期 運用状況のご報告
決算日：2023年3月27日

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）に投資し、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	日本を含む主要先進各国のソブリン債（国債および政府保証債等）を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債組入比率	債券先物比率	純資産額
	期騰	期中落率	(ベンチマーク)	期中落率			
	円	%	ポイント	%	%	%	百万円
17期(2019年3月25日)	19,416	3.2	419.02	3.1	87.9	—	77,051
18期(2020年3月25日)	20,125	3.7	441.57	5.4	94.3	—	90,359
19期(2021年3月25日)	20,744	3.1	452.56	2.5	89.9	—	84,082
20期(2022年3月25日)	21,164	2.0	461.28	1.9	90.7	—	69,040
21期(2023年3月27日)	20,501	△3.1	450.91	△2.2	87.7	—	53,865

(注) 基準価額は1万口当たり。

(注) FTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）は、当該日前営業日の指数値を使用しております。

(注) 債券先物比率＝買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

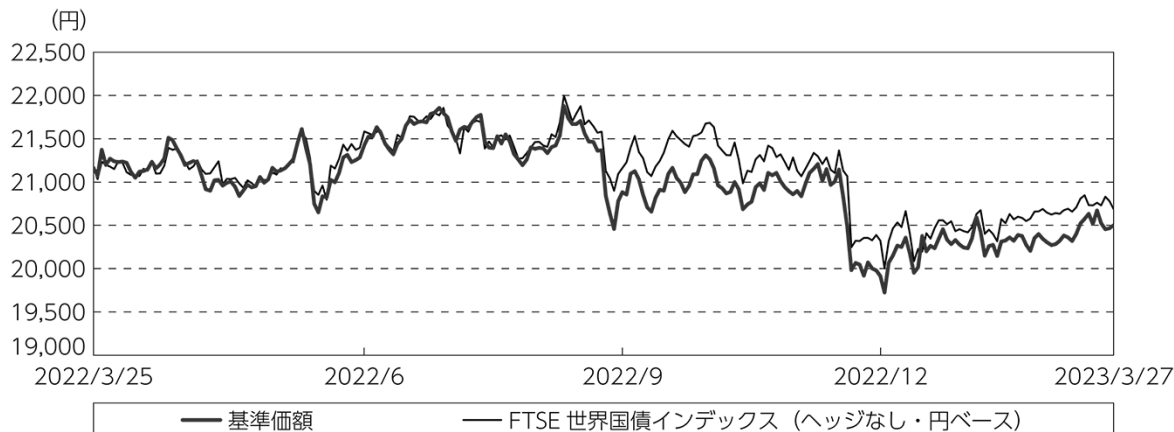
年月日	基準価額		FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)		債組入比率	債券先物比率
	騰	落率	(ベンチマーク)	騰落率		
(期首) 2022年3月25日	円 21,164	% —	ポイント 461.28	% —	% 90.7	% —
3月末	21,271	0.5	461.62	0.1	94.1	—
4月末	21,243	0.4	461.63	0.1	90.2	—
5月末	21,165	0.0	460.12	△0.3	94.2	—
6月末	21,430	1.3	470.43	2.0	88.6	—
7月末	21,748	2.8	471.98	2.3	87.0	—
8月末	21,396	1.1	467.83	1.4	89.5	—
9月末	20,883	△1.3	461.25	△0.0	86.2	—
10月末	21,309	0.7	472.46	2.4	84.3	—
11月末	20,895	△1.3	460.81	△0.1	87.7	—
12月末	19,913	△5.9	442.93	△4.0	83.4	—
2023年1月末	20,278	△4.2	445.85	△3.3	88.8	—
2月末	20,400	△3.6	450.32	△2.4	95.9	—
(期末) 2023年3月27日	20,501	△3.1	450.91	△2.2	87.7	—

(注) 騰落率は期首比。

運用経過

期中の基準価額等の推移

(2022年3月26日～2023年3月27日)



(注) ベンチマークは、FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) です。

(注) ベンチマークは、期首 (2022年3月25日) の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドにおける主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

(主なプラス要因)

- ・米ドルとユーロが対円で上昇したこと。

(主なマイナス要因)

- ・米国やユーロ圏を中心に全ての投資国において債券利回りが上昇し、保有債券の価格が下落したこと。
- ・オーストラリアドルが対円で下落したこと。

投資環境

(2022年3月26日～2023年3月27日)

<投資国の債券市場>

海外の債券市場では、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を受けてインフレ懸念が急速に高まる中、主要中央銀行が利上げに前向きなタカ派姿勢に転じたことから、利回り上昇（価格は下落）のスタートとなりました。その後も、米連邦準備制度理事会（FRB）や欧州中央銀行（ECB）が大幅な利上げに踏み切り、金融引き締め姿勢を一段と鮮明にしたことを受けて、2022年10月下旬にかけて、投資国の国債利回りの上昇が続きしました。しかし、11月に入り米国のインフレ率がピークアウトしたことに加え、FRBによる利上げペースの減速や早期利上げ打ち止めが意識されたことなどから、米国債主導で投資国の国債利回りが低下（価格は上昇）しました。2023年2月以降は、米国の好調な経済指標やECB高官の利上げに積極的な発言などを背景に再度利回り上昇が進行する場面も見られましたが、米国の大手地方銀行の破綻を契機に欧米の金融システムへの懸念が高まり、期末にかけて投資国の国債利回りが急低下する展開となりました。一方、日本では、2022年12月に日銀が長短金利操作（YCC、イールドカーブ・コントロール）における長期金利の許容変動幅を拡大したことを受けて、10年国債利回りが上昇しました。この結果、当期における投資国の10年国債利回りは、イタリアを筆頭に全ての投資国で上昇しました。

<為替市場>

為替市場では、日銀と海外の主要中央銀行との金融政策スタンスの違いから内外金利差が急拡大したことに加え、資源価格上昇に伴う日本の貿易赤字拡大を受けて、米ドルが対円で一時32年ぶりの高値となる152円近辺に急伸するなど、2022年10月下旬にかけて急速な円安が進行しました。ただ、この間に、欧州の天然ガス価格が急騰したことや、イギリス政府が発表した大規模な経済対策と国債増発が嫌気されたことが、ユーロやイギリスポンドの対円での上値を抑制する要因となりました。その後は、政府・日銀が大規模な「円買い・米ドル売り」介入を実施したこと、海外金利が低下に転じたこと、日銀がYCCの修正に踏み切ったことなどを受けて、円が対米ドルを中心に急反発する展開となりました。2023年2月以降は、海外金利の上昇を受けて、投資通貨に対し円が下落する場面も見られましたが、欧米の金融システムへの懸念を背景に海外金利が急低下すると、再び投資通貨に対し円高が進行することとなりました。この結果、当期においては、米ドルが対円で7%程度、ユーロが対円で4%台の上昇となる一方、オーストラリアドルが対円で5%台の下落となるなど、通貨間のパフォーマンス格差が顕著となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(2022年3月26日～2023年3月27日)

8カ国の主要先進国の国債に分散投資するとともに、各国の景気動向、各中央銀行の金融政策スタンス、相場動向等に留意し、金利変動リスクを測る尺度であるデュレーション[※]を変化させました。デュレーションは、6.88年～8.43年の範囲内での推移となり、期末は7.80年となりました。また、6通貨に分散投資し、相場動向に対応し各通貨の投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期においては、米ドルとユーロ中心のポートフォリオを維持し、外貨建資産の投資比率は80.5%～95.2%の範囲内での推移となりました。円高リスクが懸念される場面では、外貨の投資比率を引き下げる対応を行いました。当期における各通貨の平均投資比率は、ベンチマークと比較し、オーストラリアドル、カナダドル、イギリスポンドが高め、円、ユーロが低めとなりました。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、為替ヘッジは行いませんでした。

※デュレーション：金利変動に伴う債券価格の変動性を示す指標として用いられ、一般的にこの値が大きい程、金利変動に伴う債券価格の変動リスクが大きくなります。また、対象債券のクーポンが同じであれば、残存期間が長いほどデュレーションは長くなります。デュレーションは保有債券の平均残存年数とは異なり、利付債券の場合、平均残存年数よりも短く表記されます。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2022年3月26日～2023年3月27日)

当ファンドの基準価額の騰落率は、ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（ヘッジなし・円ベース）の騰落率を0.9%下回りました。債券要因では、投資国の債券利回りが大幅に上昇する中、ベンチマークと比較し、米国やユーロ圏のデフレを長めで推移させたことがマイナスとなりました。一方、為替要因では、対円でのパフォーマンスが悪かったオーストラリアドルの投資比率を高めに維持したことがマイナスとなる一方、2022年10月下旬以降の急速な円高局面での機動的な通貨配分の変更がプラスとなり、為替要因全体では概ねベンチマークと同程度のパフォーマンスとなりました。

今後の運用方針

（投資環境の見通し）

投資国の債券市場では、欧米の金融システムへの懸念が残る中、当面は各国の経済指標やクレジット市場の動向を睨んで、上下に振れやすい展開が続くと見えています。しかし、今後は米国を中心に銀行の融資基準の厳格化を通じて、経済活動、雇用、インフレに下押し圧力がかかると判断しており、徐々に利回り低下を試す動きが優勢になると考えています。一方、各中央銀行の金融政策スタンスには温度差があるため、投資国間のパフォーマンス格差が拡大する可能性が高いと判断しています。

為替市場では、米ドルを筆頭に海外金利の先高観測が後退したことに加え、日銀の植田新総裁の誕生を受けて、今後日銀がYCCの修正や撤廃に踏み切る公算が高いことから、短期的に円高圧力が強まる場面も想定されます。一方、内外金利差が比較的高水準を維持すると予想される中で、国内投資家からの円売りニーズも強く、円高余地は限定的と判断しています。

（運用方針）

世界経済の構造的な変化や国際情勢の動向、各国の景気動向や物価動向、各中央銀行の金融政策スタンス等に留意するとともに、金融市場間の資金の流れを分析することにより、国別・通貨別配分やデフレを決定していく方針です。これにより、ポートフォリオの為替変動リスクと金利変動リスクのコントロールを図ってまいります。なお、外貨建資産につきましては、運用の基本方針通り、原則として為替ヘッジは行わない方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年 3 月26日～2023年 3 月27日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.001)	その他は、金銭信託支払手数料等
合 計	2	0.012	
期中の平均基準価額は、20,994円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2022年 3 月26日～2023年 3 月27日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
国内	国債証券		千円 -	千円 2,431,440
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 425,914	千米ドル 472,386
	カナダ	国債証券	千カナダドル 77,952	千カナダドル 97,298
	ユーロ		千ユーロ 34,184	千ユーロ 20,931
	ドイツ	国債証券	81,959	99,192
	イタリア	国債証券	47,083	53,434
国	フランス	国債証券	千イギリスポンド 16,175	千イギリスポンド 21,622
	イギリス	国債証券	千オーストラリアドル 259,750	千オーストラリアドル 251,737
	オーストラリア	国債証券		

(注) 金額は受渡代金。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年3月26日～2023年3月27日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2023年3月27日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末			
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	1,500,000	1,478,845	2.7	—	2.7	—	—
合 計	1,500,000	1,478,845	2.7	—	2.7	—	—

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期			末	
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日	
国債証券	%	千円	千円		
第363回利付国債 (10年)	0.1	500,000	493,355	2031/6/20	
第364回利付国債 (10年)	0.1	1,000,000	985,490	2031/9/20	
合 計		1,500,000	1,478,845		

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千米ドル 164,000	千米ドル 163,471	千円 21,357,559	% 39.7	% —	% 24.8	% 13.7	% 1.2
カナダ	千カナダドル 26,000	千カナダドル 24,088		4.3	—	3.0	1.2	—
ユーロ	千ユーロ	千ユーロ						
ドイツ	67,000	53,815	7,570,258	14.1	—	14.1	—	—
イタリア	13,000	11,901	1,674,129	3.1	—	—	3.1	—
フランス	53,000	48,681	6,847,999	12.7	—	10.6	1.3	0.8
イギリス	千イギリスポンド 13,000	千イギリスポンド 14,091	2,252,915	4.2	—	4.2	—	—
オーストラリア	千オーストラリアドル 47,000	千オーストラリアドル 43,446	3,770,705	7.0	—	5.6	1.4	—
合 計	—	—	45,765,790	85.0	—	62.2	20.7	2.0

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			当 期 末				償還年月日
			利 率	額面金額	評 価 額		
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
国債証券	US TREASURY N/B 2.25	2.25	26,000	24,783	3,237,935	2027/2/15	
	US TREASURY N/B 2.25	2.25	16,000	12,775	1,669,053	2041/5/15	
	US TREASURY N/B 3	3.0	13,000	11,444	1,495,166	2052/8/15	
	US TREASURY N/B 3.5	3.5	22,000	22,220	2,903,043	2033/2/15	
	US TREASURY N/B 3.625	3.625	11,000	10,950	1,430,637	2053/2/15	
	US TREASURY N/B 3.875	3.875	31,000	31,564	4,123,875	2027/12/31	
	US TREASURY N/B 4.125	4.125	20,000	21,193	2,768,963	2032/11/15	
	US TREASURY N/B 4.375	4.375	5,000	5,028	656,975	2024/10/31	
	US TREASURY N/B 6.25	6.25	20,000	23,512	3,071,908	2030/5/15	
小 計					21,357,559		
カナダ			千カナダドル	千カナダドル			
国債証券	CANADA-GOV' T 2	2.0	12,000	11,294	1,074,775	2032/6/1	
	CANADA-GOV' T 2	2.0	7,000	5,735	545,772	2051/12/1	
	CANADA-GOV' T 3.75	3.75	7,000	7,058	671,675	2025/5/1	
小 計					2,292,222		
ユーロ			千ユーロ	千ユーロ			
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 0	—	26,000	21,673	3,048,861	2032/2/15
		DEUTSCHLAND REP 0	—	22,000	11,828	1,663,948	2052/8/15

ワールド・ソブリンインカム マザーファンド

銘	柄		当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ユーロ			%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
ドイツ	国債証券	DEUTSCHLAND REP 2.3	2.3	10,000	10,150	1,427,884	2033/2/15
		DEUTSCHLAND REP 4.75	4.75	9,000	10,162	1,429,563	2028/7/4
イタリア	国債証券	BTPS 0.85	0.85	13,000	11,901	1,674,129	2027/1/15
フランス	国債証券	FRANCE O. A. T. 1.5	1.5	13,000	9,339	1,313,800	2050/5/25
		FRANCE O. A. T. 2	2.0	14,000	13,224	1,860,335	2032/11/25
		FRANCE O. A. T. 2.5	2.5	18,000	18,033	2,536,718	2030/5/25
		FRANCE O. A. T. 2.75	2.75	5,000	5,062	712,071	2027/10/25
		FRANCE O. A. T. 4.25	4.25	3,000	3,021	425,073	2023/10/25
小	計					16,092,387	
イギリス				千イギリスポンド	千イギリスポンド		
	国債証券	UK TSY GILT 4.25	4.25	3,000	3,261	521,455	2032/6/7
		UK TSY GILT 4.25	4.25	7,000	7,499	1,199,079	2039/9/7
		UK TSY GILT 4.75	4.75	3,000	3,329	532,381	2030/12/7
小	計					2,252,915	
オーストラリア				千オーストラリアドル	千オーストラリアドル		
	国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 1.75	1.75	31,000	27,245	2,364,644	2032/11/21
		AUSTRALIAN GOVT. 3.25	3.25	8,000	7,638	662,964	2039/6/21
		AUSTRALIAN GOVT. 4.75	4.75	8,000	8,562	743,095	2027/4/21
小	計					3,770,705	
合	計					45,765,790	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2023年3月27日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 47,244,635	% 86.5
コール・ローン等、その他	7,361,579	13.5
投資信託財産総額	54,606,214	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産 (46,185,246千円) の投資信託財産総額 (54,606,214千円) に対する比率は84.6%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算レートは1米ドル＝130.65円、1カナダドル＝95.16円、1ユーロ＝140.67円、1イギリスポンド＝159.88円、1オーストラリアドル＝86.79円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年3月27日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	54,606,214,446
コール・ローン等	6,941,970,919
公社債(評価額)	47,244,635,774
未収利息	302,491,712
前払費用	117,116,041
(B) 負債	741,058,443
未払金	741,035,493
未払利息	7,291
その他未払費用	15,659
(C) 純資産総額(A-B)	53,865,156,003
元本	26,274,009,204
次期繰越損益金	27,591,146,799
(D) 受益権総口数	26,274,009,204口
1万口当たり基準価額(C/D)	20,501円

(注) 計算期間末における1口当たりの純資産額は、2.0501円です。
 (注) 当ファンドの期首元本額は32,622,063,563円、期中追加設定元本額は13,866,310円、期中一部解約元本額は6,361,920,669円です。

(注) 当親ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、以下の通りです。

ワールド・ソブリンインカム (愛称 十二単衣)	25,025,768,454円
Wソブリン毎月分配型 (一般投資家私募、適格機関投資家転売制限付)	554,788,358円
私募ソブリン15-01 (適格機関投資家専用)	336,757,985円
ワールド・ソブリンインカム (1年決算型)	188,456,779円
ソブリンオープン (適格機関投資家専用)	117,023,171円
DCワールド・ソブリンインカム	51,214,457円

○損益の状況 (2022年3月26日～2023年3月27日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,270,925,266
受取利息	1,272,862,233
支払利息	△ 1,936,967
(B) 有価証券売買損益	△ 3,064,161,898
売買益	4,426,964,274
売買損	△ 7,491,126,172
(C) その他費用等	△ 7,202,478
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 1,800,439,110
(E) 前期繰越損益金	36,418,753,299
(F) 追加信託差損益金	15,003,713
(G) 解約差損益金	△ 7,042,171,103
(H) 計(D+E+F+G)	27,591,146,799
次期繰越損益金(H)	27,591,146,799

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定した価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈お知らせ〉

該当事項はございません。

〈当ファンドのベンチマークについて〉

FTSE世界国債インデックス (ヘッジなし・円ベース) は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。